

平成22年度  
富士見が丘地区  
地域福祉保健計画

# ご近所どうして助け合い 安全・安心・快適なまちづくり

「富士見が丘地区地域福祉保健計画」は、地域のみなさんの声を反映して策定し、今年度より第2期(平成22~27年度)に入りました。

今後も推進委員会の各団体を中心に、計画を進めていきます。

富士見が丘地区の連合自治会や地区社会福祉協議会をはじめとする福祉、保健等の関係団体、施設などの代表で構成する「富士見が丘地区地域福祉保健計画推進委員会」では、意見を出し合い、地域福祉保健計画の実現を目指して活動をしています。



秋の富士見が丘まつりで、子どもたちにも計画をPRしました。(バルーンアートもプレゼント)

## 平成22年度の取り組み

### 1 高齢者が生きがいをもてるまちづくり

- ・閉じこもりがちな高齢者が集え、世代を超えて交流ができる居場所・サロンづくりを進めます。
- ・介護予防の講習会を行います。
- ・公園・街路の清掃や、子どもの登下校見守りなどの地域活動へ世代を超えた参加を広げます。

### 2 「障がい」がある方への理解と交流

- ・障がい児・者のことを知っていただくため、施設利用者や地域の方が互いに行事に参加する機会をつくり交流を深めます。
- ・障がいのある方が地域で活躍できる機会をつくりまます。

### 3 身近な場所で健康づくり

- ・体操・ウォーキングなどのプログラムを増やすとともに、男性や夫婦での参加も呼びかけ健康づくりを広めます。

### 4 地域で子育てを応援

- ・子どもたちが地域活動に参加する機会をつくりまます。
- ・世代間交流の場として、居場所づくりを進めます。(再掲)
- ・子育て支援者向けの研修を行います。

### 5 災害時要援護者支援の体制づくり

- ・要援護者の把握に努めるとともに、支援者として多くの人が参加できるように登録者の募集を継続します。

### 6 地区活動団体・施設紹介パンフレットの内容充実

- ・新しい情報を提供し、各団体の掲載内容の充実を図ります。
- ・効率的な情報発信を行い活用し易くするために、ホームページ掲載を検討します。
- ・団体同士の交流を進めます。

